

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                   |            |  |
|---------|-------------------|------------|--|
| 事業所番号   | 1090200013        |            |  |
| 法人名     | 社会福祉法人　ターピュランス福祉会 |            |  |
| 事業所名    | グループホーム乗附         |            |  |
| 所在地     | 群馬県高崎市乗附町1200-1   |            |  |
| 自己評価作成日 | 平成25年3月1日         | 評価結果市町村受理日 |  |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |                                                                                         |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigo-joho.pref.gunma.jp/">http://www.kaigo-joho.pref.gunma.jp/</a> |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------|

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人群馬社会福祉評価機構 |
| 所在地   | 群馬県前橋市新前橋町13-12     |
| 訪問調査日 | 平成25年3月28日          |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気のもとで、喜怒哀楽を共にし、季節に応じた催し物や行事を行い、季節感や自然、社会との触れ合いを感じていただけるよう努めている。また、できることは無理のないよう一緒にいき、持っている能力を少しでも発揮できるようにも努めている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、近くのゴミステーションの清掃を行うなど地道な活動を行い、日常的な挨拶や会話を通して近隣との関係を築き、毎年庭に咲いた桜の枝を持ってきてもらったり、地域の敬老会では弁当を食べながら芸能発表を楽しんでいる。また、看板には相談可能なことを知らせ、子どものかけ込み場所としての「子どもを守る家」にもなっている。外出支援にも力を入れ、月1回の花見や買い物・夜間のほたる観賞など外出を楽しんでいる。あわせて、入居者一人ひとりの希望をできるだけ反映させ、個別に化粧品やタオルなどの買い物に行ったり、入居者の生まれた場所などを外出先に取り入れたりしている。今後、さらに家族との信頼関係構築を目指し、事業所での写真や外出先での写真を家族に送付することを検討している。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項 目 |                                                    | 取 り 組 み の 成 果<br>↓ 該当するものに○印 |                                                                   | 項 目 |                                                                     | 取 り 組 み の 成 果<br>↓ 該当するものに○印 |                                                                   |
|-----|----------------------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 56  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                            | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                            | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                            | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                            | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59  | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66  | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                            | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                            | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62  | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                            | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |     |                                                                     |                              |                                                                   |

# 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

| 自己<br>外部   | 項目  | 自己評価                                                                                                                        | 外部評価                                                                                                         |                                                                                                                                                                 |  |
|------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|            |     | 実践状況                                                                                                                        | 実践状況                                                                                                         | 次のステップに向けて期待したい内容                                                                                                                                               |  |
| I.理念に基づく運営 |     |                                                                                                                             |                                                                                                              |                                                                                                                                                                 |  |
| 1          | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                                                          | 理念は玄関に掲示したり、会議等でたびたび意義を確認し、実践につなげている。                                                                        | 法人理念を玄関に掲示し、法人理念を基に職員の意見を聞いて事業所の目標を掲げている。利用者から「ありがとう」と言ってもらえるような支援と、地域の一員として地域に貢献するような施設を目指し、管理者は職員個々に再確認してあたるよう伝えている。                                          |  |
| 2          | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                                                          | 町内会に加入し、地域の清掃活動や行事に参加。また、回覧板を届けるときや散歩時に、近所の方から声をかけていたり、月に2回程度ボランティアの方にも来ていただいている。施設の催し物等で慰問に来ていただきお世話になっている。 | 日常的に、地域のゴミステーションの掃除を行ったり、洗濯物を干したり散歩をしたりする際に近所の方と挨拶や会話をしたりしている。事業所のフェンスには看板に相談可能なことを記載し、「子どもを守る家」としても登録している。地域の敬老会に招待され、弁当を食しながら芸能発表を楽しんでいる。                     |  |
| 3          |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                                                        | グループホームのことや認知症に関して、入居・サービスに関しての相談や質問などあるので少しでも力になればと協力している。また、「子供を守る家」「認知症サポーター」等で地域の一員として協力している。            |                                                                                                                                                                 |  |
| 4          | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 会議での出席者からの要望や意見を、実際のサービスに取り入れるよう努めている。行事で希望があった場所にでかけたり、会議で話題になったものを献立に取り入れてみた。                              | 会議は、事業所の報告の他、意見交換を行っている。昔食べたものが話題になり献立に活かしたり、家庭生活においてなかなかできなかった外出について意見があり継続して事業所で実施できるよう取り組んだりしている。                                                            |  |
| 5          | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                                               | 運営推進会議などで施設の実情や取り組み、困ったことなど伝えアドバイスをいただいたりしている。                                                               | 運営推進会議終了後に、わからないことを聞いている。インフルエンザ流行の際には、市担当者より注意喚起を受けている。                                                                                                        |  |
| 6          | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 法人内に身体拘束に関する委員会を設置。契約所や施設内の掲示板にも関連事項を記載し掲示している。また、玄関の施錠も含め、必要箇所以外は施錠をしないよう心掛けている。                            | 身体拘束をしないケアの実践を謳い、事業所に掲示している。職員は、法人の身体拘束に関する委員会に出席し、事業所の会議で職員にフィードバックしている。玄関にはセンサーを設置しているが、職員は観察を行い玄関に向かう利用者がいれば一緒に外に出たり、その人の様子から食事を小分けに提供したりして、不穏にならないよう支援している。 |  |
| 7          |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 法人内に虐待防止に関する委員会を設置しており、職員が虐待について考える機会を持ち、防止に努めている。                                                           |                                                                                                                                                                 |  |

| 自己 | 外部  | 項 目                                                                                            | 自己評価                                                                             | 外部評価                                                                                                                                                      |                   |
|----|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |     |                                                                                                | 実践状況                                                                             | 実践状況                                                                                                                                                      | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 家族や関係者と話し合い、成年後見制度を活用し始めた方がいるので、今後さらに理解を深めるようにしていきたい。                            |                                                                                                                                                           |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約時、内容や重要事項を説明しているが、疑問点などあった場合はいつでも対応することを伝えている。制度の改定などあった場合にも、書面等によりその都度説明している。 |                                                                                                                                                           |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 重要事項に苦情相談窓口としてホームと外部機関の連絡先を明記している。また、玄関に意見箱を設置している。運営推進会議も活用している。                | 家族等の来訪時には、お茶を出したり、荷物があればテーブルを出したりして、話しやすい雰囲気づくりをしている。家族からの質問には、繰り返しであっても丁寧な説明をするように心がけている。新年度からは、来られない家族にも配慮し、写真を送付することを検討している。                           |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 月に1度会議を行って意見や提案を出してもらっているが、普段の業務中でも気軽に申し出てもらえるよう心掛け反映させている。                      | 月1回の会議で、職員からの提案を話し合っている。会議で提案を出しづらい職員は、業務のなかで管理者に伝え、管理者から議題に出すようにしている。職員からの提案により、ソファの位置を変更したり、外出先を検討したりしている。事業所内で解決できない場合には、代表者も出席する各事業所の代表が集まる会議で検討している。 |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 月に1度代表者も出席する会議を行い、要望や意見などを提案できる機会を設けている。また、就業規則の改定を行い、職場環境・条件の整備に努めている。          |                                                                                                                                                           |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 参加を希望する研修があれば、可能な限り勤務を調整したり、順番で研修に参加している。法人内の研修は勤務後に行っているのので参加を促している。            |                                                                                                                                                           |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域密着サービス連絡協議会に入会し、そこでの研修や会議等を通じて、交流を図っている。                                       |                                                                                                                                                           |                   |

| 自己                  | 外部  | 項 目                                                                                  | 自己評価                                                                         | 外部評価                                                                                                                                         |                   |
|---------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                     |     |                                                                                      | 実践状況                                                                         | 実践状況                                                                                                                                         | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |     |                                                                                      |                                                                              |                                                                                                                                              |                   |
| 15                  |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前には家族だけでなく、なるべく本人にも来ていただき、実際にお会いし要望・疑問点など直接話ができる機会を設けるようにしている。             |                                                                                                                                              |                   |
| 16                  |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 必ず直接家族の方から要望・疑問点などを聴き、不安を解消するよう努めている。入居後も疑問点等あったらいつでも対応することを話している。           |                                                                                                                                              |                   |
| 17                  |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 本人や家族が望んでいることや現況を直接会って確認し、それらを計画作成担当や担当ケアマネなどと相談し対応している。                     |                                                                                                                                              |                   |
| 18                  |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 掃除や調理・裁縫など本人ができる範囲のことを本人の意思を尊重し、一緒になって行っている。利用者間の協力もみられる。                    |                                                                                                                                              |                   |
| 19                  |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 通院や行事など家族の協力を得ながら、利用者を支えていただいている。また、こちらからの急なお願いにも協力をいただいている。                 |                                                                                                                                              |                   |
| 20                  | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 面会や行事への参加をお願いしたり、面会時にはゆっくりと会話ができるように配慮している。また、家族や友人等に電話など要望があった場合はすぐに対応している。 | 希望する馴染みのかかりつけ医や美容院の利用の他、職員からお盆や彼岸にはお墓参りに声をかけたりしている。入居者の生活歴を元に、テレビを見て話題になったその方の自宅地域にドライブを兼ねて皆で出かけたりして、個別の支援に努めている。その他、家族との外出や外泊は急な希望でも対応している。 |                   |
| 21                  |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | ホールの座席の場所なども利用者同士の関係を考え、心地よく過ごすことができるように努めている。利用者同士で声を掛けあい、協力する場面も見られる。      |                                                                                                                                              |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項 目                                                                                                    | 自己評価                                                                       | 外部評価                                                                                                                             |                   |
|------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                    |      |                                                                                                        | 実践状況                                                                       | 実践状況                                                                                                                             | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 契約終了後も相談などあった場合は、情報提供や相談に応じて関係機関を紹介するなど支援に努めている。                           |                                                                                                                                  |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |                                                                                                        |                                                                            |                                                                                                                                  |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | 入居時に記入してもらったり、毎日のコミュニケーションの中で希望や意向を聞き取るよう努めている。また、困難な場合には、家族の意向なども聞き取っている。 | 直接聞くと遠慮してしまう入居者の心情に考慮して、テレビや新聞を通しての何気ない会話のなかで聞き取るようにしている。また、レクリエーションなどを通して入居者の観察を行い、夜間帯などに個別の対応を行い、意向の把握に努めている。                  |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 入居前に家族の方や本人に記入してもらい確認している。また、入居後も普段の生活の中からも把握するよう努めている。                    |                                                                                                                                  |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | 毎日の申し送りで確認するほか、特に変化がある場合には、会議などで話し合い現状の把握に努めている。                           |                                                                                                                                  |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人や家族の希望や要望等を聞き、またモニタリングをもとに職員からの情報や意見も出し合い、計画作成担当者が中心となって作成している。          | 介護計画を更新のたびに、家族に「一番心配なこと」「対応してほしいこと」などを書面で記載してもらい、介護計画に反映させている。介護計画に沿って支援できているかは、毎日担当職員が記録(チェック)している。介護経過として知れた情報は、文字色を変えて追記している。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 個別記録や申し送りノートに記入したり、会議等でも計画作成担当者も出席し意見や提案を出しもらうなどして情報を共有し、見直しにも活かしている。      |                                                                                                                                  |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる             | 本人や家族の意見を聴き、場合によっては関係機関とも連絡し、可能な限り要望やニーズに対応するようにしている。                      |                                                                                                                                  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                  | 自己評価                                                                                   | 外部評価                                                                                                                        |                   |
|----|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                     | 実践状況                                                                                   | 実践状況                                                                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 地域のボランティアの方や近所の床屋さん、飲食店、近隣の医師の往診など協力を得ながら支援している。                                       |                                                                                                                             |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 入居時に協力医療機関について説明するが、本人や家族の希望を確認し、希望に沿った医療機関で受診ができるように支援している。                           | これまでのかかりつけ医を受診する場合には、家族の対応で行い、情報交換をしている。入居時には、2ヶ所の協力医の説明を行い、希望する場合には往診や送迎で対応している。また、協力医との関係を築き、点滴後に迎えに行くなど医療が受けられるよう支援している。 |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 定期受診や往診時にはもちろんこと、それ以外にも変化があった時など報告・相談して指示やアドバイスをもらい、適切に対応できるように支援している。                 |                                                                                                                             |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時はもちろん、入院中も定期的に医療機関に行き、医師や看護師と情報交換を行っている。また、普段の受診や往診時にも情報交換や相談など行い、安心して治療できるよう努めている。 |                                                                                                                             |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 入所時に施設でできる支援について説明を行い、支援が難しくなりつつある場合には、早い段階で利用者の状況に応じて家族や主治医、ケアマネ等と話し合い対応を検討している。      | 医療行為が常時必要になった場合には、対応できないことを説明している。医師からの説明でレベルが落ちてきた際には、法人職員・ケアマネジャー・管理者で今後の対応を話し合い、他の施設への移転や入院としている。                        |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                              | マニュアルを設置しているが、法人内の応急手当等の研修にも参加している。                                                    |                                                                                                                             |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている                                              | 年2回の火災予防訓練を実施し、避難方法や通報の方法を確認している。また、地域の区長さん班長さんに災害時の協力を依頼しており、近所の方にも区長さんを通して協力を依頼している。 | 年2回昼夜を想定して、訓練を実施している。訓練には回覧板で地域の方に知らせ、実際に見守りの役割を担ってもらい訓練を行っている。他県の火災を機会に、コンセントについてたほこりの清掃を行った。                              |                   |

| 自己                       | 外部   | 項 目                                                                              | 自己評価                                                                                               | 外部評価                                                                                                                                                         |                   |  |
|--------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|--|
|                          |      |                                                                                  | 実践状況                                                                                               | 実践状況                                                                                                                                                         | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |                                                                                  |                                                                                                    |                                                                                                                                                              |                   |  |
| 36                       | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 名前の呼び方や声掛けの方法、対応に注意を払うよう会議等で確認している。また、法人でも委員会を設置し、職員に呼びかけている。                                      | 入居の際に、呼称を聞いているが、基本は苗字にさんづけをしている。できるだけ手伝ってもらうことを心がけており、そうしたなかでの声かけは、「していただけますか」と依頼するようにしている。また、入居者がすることには事情があってすることであるので、その点を考慮して「だめ」「ちょっと待って」を言わないように注意している。 |                   |  |
| 37                       |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 毎日のコミュニケーションの中で意向や希望を表せるよう意図的に話したり、本人の状況に応じて、いくつか選択肢を設け自ら選んでもらうような機会をつくるよう努めている。                   |                                                                                                                                                              |                   |  |
| 38                       |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | おおよその日課は決まっているが、それにとられず、一人ひとり独自のペースを尊重し、強制はせず、その時その場面での意向を考慮して支援している。                              |                                                                                                                                                              |                   |  |
| 39                       |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 化粧水やクリームなど希望される方がいるので準備している。外出時には化粧もすすめている。また、洋服や化粧品と一緒に買いに出かけたり、近所の床屋さんに来てもらい、本人の希望にそって切ってもらっている。 |                                                                                                                                                              |                   |  |
| 40                       | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | それぞれできることを活かしながら食事の準備や皿洗いなど一緒に行っている。また、メニューに利用者の意見や、外食や出前なども取り入れて、好きなものを自分で選択して食べていただいている。         | 食事は、法人の栄養士の献立をもとに職員が調理して提供している。テレビを見ながら話題になったものをメニューに加えたり、事業所の畑で採れた野菜を使ったりして、食事を楽しんでいる。利用者は、準備や片付けを行なっている。食事中は静かな音楽をかけたり、入居者の希望するのど自慢の番組をかけたりして、職員も一緒に摂っている。 |                   |  |
| 41                       |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 法人の栄養士の献立を参考にして食事を作っている。また、本人の状態によっては、食事の形態を変えたり、飲みやすくしたり好みのものを用意している。                             |                                                                                                                                                              |                   |  |
| 42                       |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎食後に口腔ケアを行っている。磨き残しが多い方には声掛けをし注意を促している。義歯を利用している方については毎晩洗浄液につけている。                                 |                                                                                                                                                              |                   |  |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                         | 自己評価                                                                                             | 外部評価                                                                                                                                      |                   |
|----|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                             | 実践状況                                                                                             | 実践状況                                                                                                                                      | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 排泄チェックをして排泄の確認とパターンをつかんだり、介助が必要な方には必要最低限の介助を心がけて支援している。紙オムツは極力使用しないように努めている。                     | トイレでの排泄ができるように支援している。排泄チェック表をもとに声をかけたり 時間誘導をしたり、そぶりをみて声をかけたりしている。尿意があるがトイレの場所がわからない人には、そっと誘導したり、大きく表示をしたりして、自分で行けるように支援している。              |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                                              | ヨーグルトやプルーンなど好影響をもたらす食品を毎日食べていただいたり、散歩や体操を毎日行っている。排泄のチェックをし、必要に応じ医師に相談している。                       |                                                                                                                                           |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 最低週3回は入っていただいているが、入浴できなかったり拒否した場合、希望があった時は、それ以外でも入浴できるようにしている。菖蒲湯や柚湯など季節に応じたお風呂で楽しんでいただいている。     | 入浴は週3回行い、嫌がる方には翌日に変更したり、清拭で対応したりしている。清潔保持とともに、身体観察とリフレッシュの時間であると捉え支援している。1対1での支援のため、話ができる機会となっている。今後、夜間の入浴を希望される場合には、相談しながら体制を整えたいと考えている。 |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                                               | それぞれの意向を尊重し、その人の状況に応じて休むよう促したりする場合もある。昼食後には休息の時間を設けている。少しでも安心して休めるよう、自宅で使用していた寝具をなるべく持参してもらっている。 |                                                                                                                                           |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                          | 薬の目的や作用・副作用など記載された本を準備していつでも確認できるようにしている。また、間違いのないよう名前や服薬時間をそれぞれの薬に記入している。                       |                                                                                                                                           |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | これまでの生活歴や趣味を参考にして、裁縫道具や読み物・ビデオやDVDなど用意している。散歩やドライブ、職員と一緒に調理や買い物なども行い気分転換を図っている。                  |                                                                                                                                           |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 要望があるときは職員と一緒に外出したり、場合によっては家族に依頼をして希望に沿うよう努めている。化粧品や衣類など職員と買い物に出かけたり、月に1度は全員で外食等に出かけたりしている。      | 日常的に散歩をしたり、月1回は花見などのドライブに出かけたり、個別にタオルや化粧品などの買い物に行ったりしている。職員の提案を活かし、夜のほたる観賞にも出かけている。                                                       |                   |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                                              | 自己評価                                                                                                                                    | 外部評価                                                                                                                      |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                  | 実践状況                                                                                                                                    | 実践状況                                                                                                                      | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | 普段はホームので利用者の金銭を管理しているが、管理が可能な方は小額のお金を自分で所持している。買い物に出かけた時など自分で支払いができるよう支援している。                                                           |                                                                                                                           |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | 電話の要望があった場合は自分で電話をかけられるよう支援したり、手紙の要望があったときは便箋やハガキを用意してやり取りできるよう支援している。                                                                  |                                                                                                                           |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | トイレのドアや自分の部屋を間違ってしまう方の居室ドアに名前を貼ったり、外出時の写真や職員と一緒に作った作品を違和感がないように掲示して生活感や季節感を採り入れている。食事の時間には音楽を流し、落ち着いて食べられるようにしている。                      | 入居者が落ち着ける環境づくりを考えており、掲示物にも入居者の気持ちに注意をしながら飾っている。桜の花をあしらった飾りをしたり、トイレには表示や居室にネームプレートをおいて、わかりやすい工夫をしている。また、ラックには新聞や雑誌が置かれている。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | ホールにソファを設け、気のあった者同士過ごせるようにしている。また、ひなたぼっこを日課としている方には、イスやお茶を準備してゆっくり過ごしてもらえるようにしている                                                       |                                                                                                                           |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | 家族の方にはできるだけ自宅で使い慣れた物や愛用の衣類や寝具、思い出の物などを持ってきていただくようお願いし継続して使用している。また、居室には自分で作った作品や誕生日カードなど飾っている方や、本人の希望でベッドではなく布団を使用する方もいる。               | ダンスなど馴染みのものを持ち込めることを入居の際に伝え、入居者が家族と相談しながら配置を決めている。持ち込みがない入居者には、レクリエーションでの作品や手作りの誕生日カードなどを飾っている。                           |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                             | 床の段差をなくし、廊下やトイレ・風呂場に手すりを設置している。また、居室の入り口に表れを下げ場合によってはドアにも名前を書いた紙を貼ったりしている。カレンダーを手作りして文字を大きくしている。それぞれの居室にはエアコンや床暖房が完備され、安心して過ごしていただいている。 |                                                                                                                           |                   |